

# 真駒内駅前地区まちづくりに関する意識調査（第2回）

## 1 意識調査概要

調査対象者	南区にお住まいの18歳以上の方から、住民基本台帳をもとに6千人を抽出
調査方法	調査票を郵送し、返信用封筒で回収
調査期間	令和3年（2021年）5月10日（月）～令和3年（2021年）5月31日（月）
回収結果	発送数：6,000票 回収数（率）：2,448票（40.8%）

※各表の割合は選択肢ごとに小数第2位で四捨五入しているため、その割合の合計が100%にならないことがあります。

## 2 調査結果

### ■属性（Q1～8）について

- 回収されたサンプルの各年代の構成割合、各地域別の構成割合は、南区の実際の構成割合（R3.1.1時点 住民基本台帳）とほぼ同じとなった。【2ページ】

### ■各街区の土地利用方針（Q9）について

- 各項目ともに、「望ましい、どちらかといえば望ましい」とした回答が多かった。【4ページ】

### ■歩行者及び自動車の動線計画（Q10）について

- 「にぎわい・交流の創出」、「歩行者の動線」、「交通の安全性」の観点においては、「案1が望ましい、どちらかといえば案1が望ましい」とした回答が多かった。【4、5ページ】
- 「自動車の動線」の観点においては、「案2が望ましい、どちらかといえば案2が望ましい」とした回答が多かった。【5ページ】

### ■案1と案2（Q11）について

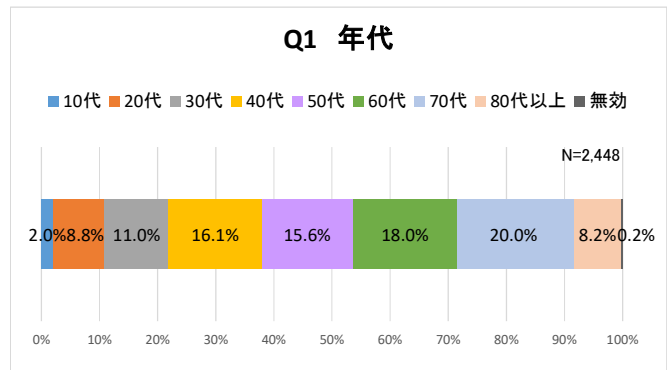
- 全体では、「案1が望ましい、どちらかといえば案1が望ましい」とした回答が52.6%、「案2が望ましい、どちらかといえば案2が望ましい」とした回答が33.3%であった。【6ページ】
- 地域別集計においても、全体とほぼ同様の傾向であった（真駒内地域を含む）。【6ページ】
- 年代別集計においても、全体とほぼ同様の傾向であった。【7ページ】
- 真駒内駅の利用頻度が高い人ほど、「案1が望ましい、どちらかといえば案1が望ましい」と回答する傾向があった。【7ページ】

# 1 回答者属性

## Q1 年代

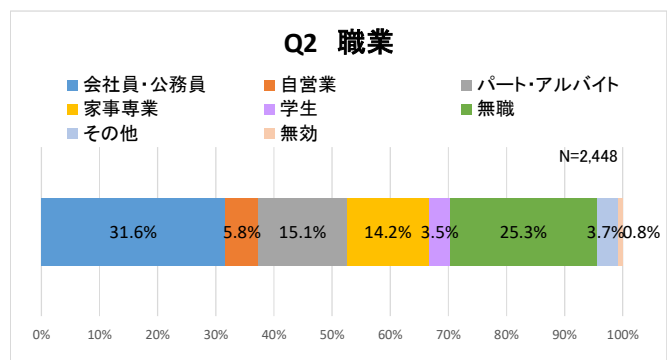
選択肢	サンプル数	割合	《参考》 南区構成比※1
10代	50	2.0%	11.2%
20代	216	8.8%	
30代	269	11.0%	10.5%
40代	393	16.1%	14.5%
50代	383	15.6%	15.3%
60代	441	18.0%	17.6%
70代	490	20.0%	30.9%
80代以上	200	8.2%	
無効	6	0.2%	-
合計	2,448	100.0%	100.0%

※1 住民基本台帳 令和3年1月1日時点(18歳以上を対象に比較)



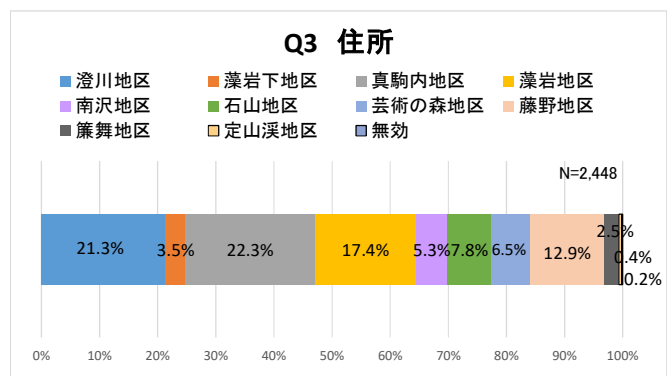
## Q2 職業

選択肢	サンプル数	割合
会社員・公務員	773	31.6%
自営業	142	5.8%
パート・アルバイト	370	15.1%
家事専業	348	14.2%
学生	86	3.5%
無職	620	25.3%
その他	90	3.7%
無効	19	0.8%
合計	2,448	100.0%



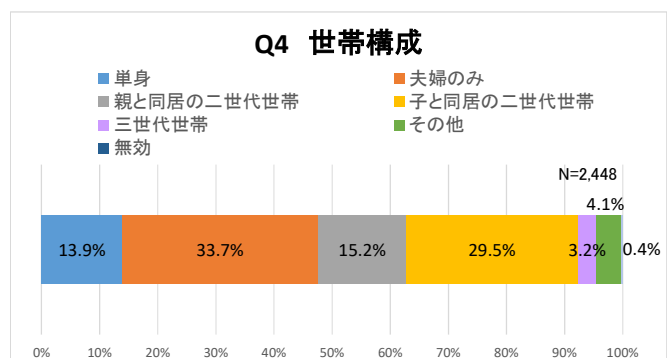
## Q3 住所

選択肢	サンプル数	割合	《参考》 人口構成比※1
澄川地区	522	21.3%	21.6%
藻岩下地区	85	3.5%	3.8%
真駒内地区	545	22.3%	19.8%
藻岩地区	426	17.4%	24.6%
南沢地区	129	5.3%	
石山地区	190	7.8%	7.8%
芸術の森地区	160	6.5%	5.1%
藤野地区	315	12.9%	13.1%
簾舞地区	60	2.5%	3.4%
定山渓地区	11	0.4%	0.8%
無効	5	0.2%	-
合計	2,448	100.0%	100.0%



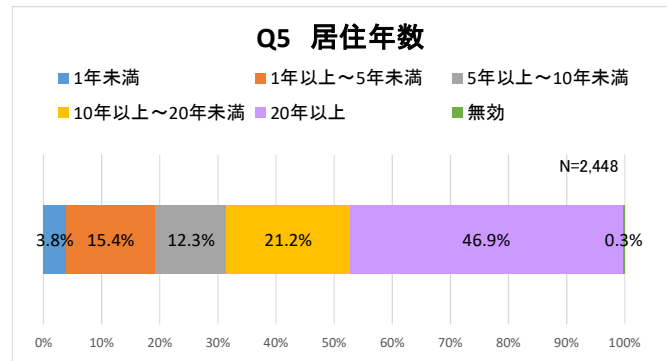
## Q4 世帯構成

選択肢	サンプル数	割合
単身	340	13.9%
夫婦のみ	825	33.7%
親と同居の二世帯世帯	372	15.2%
子と同居の二世帯世帯	722	29.5%
三世帯世帯	79	3.2%
その他	101	4.1%
無効	9	0.4%
合計	2,448	100.0%



## Q5 居住年数

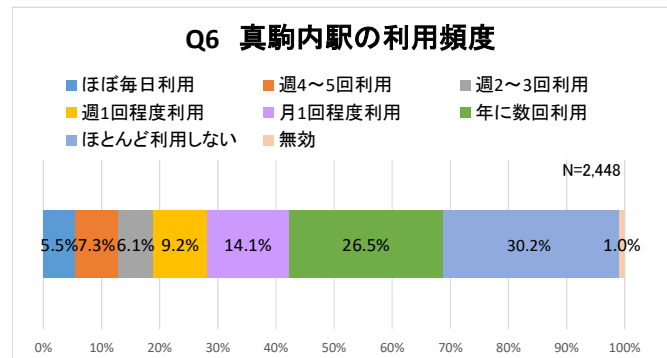
選択肢	サンプル数	割合
1年未満	94	3.8%
1年以上～5年未満	378	15.4%
5年以上～10年未満	300	12.3%
10年以上～20年未満	519	21.2%
20年以上	1,149	46.9%
無効	8	0.3%
合計	2,448	100.0%



## 2 真駒内駅の利用

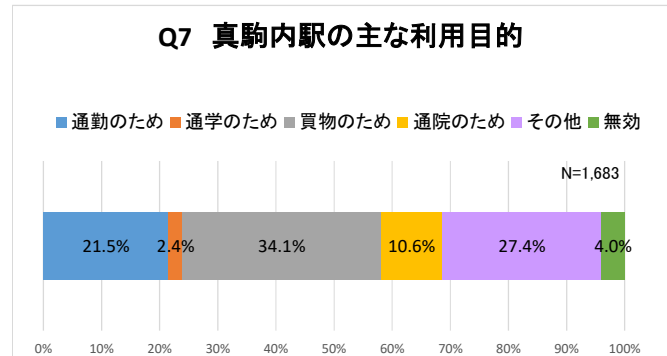
### Q6 真駒内駅の利用頻度

選択肢	サンプル数	割合
ほぼ毎日利用	134	5.5%
週4～5回利用	179	7.3%
週2～3回利用	150	6.1%
週1回程度利用	225	9.2%
月1回程度利用	346	14.1%
年に数回利用	649	26.5%
ほとんど利用しない	740	30.2%
無効	25	1.0%
合計	2,448	100.0%



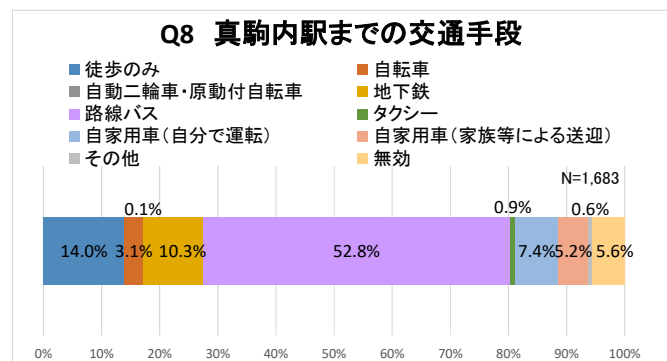
### Q7 真駒内駅の主な利用目的

選択肢	サンプル数	割合
通勤のため	362	21.5%
通学のため	41	2.4%
買物のため	574	34.1%
通院のため	178	10.6%
その他	461	27.4%
無効	67	4.0%
合計	1,683	100.0%



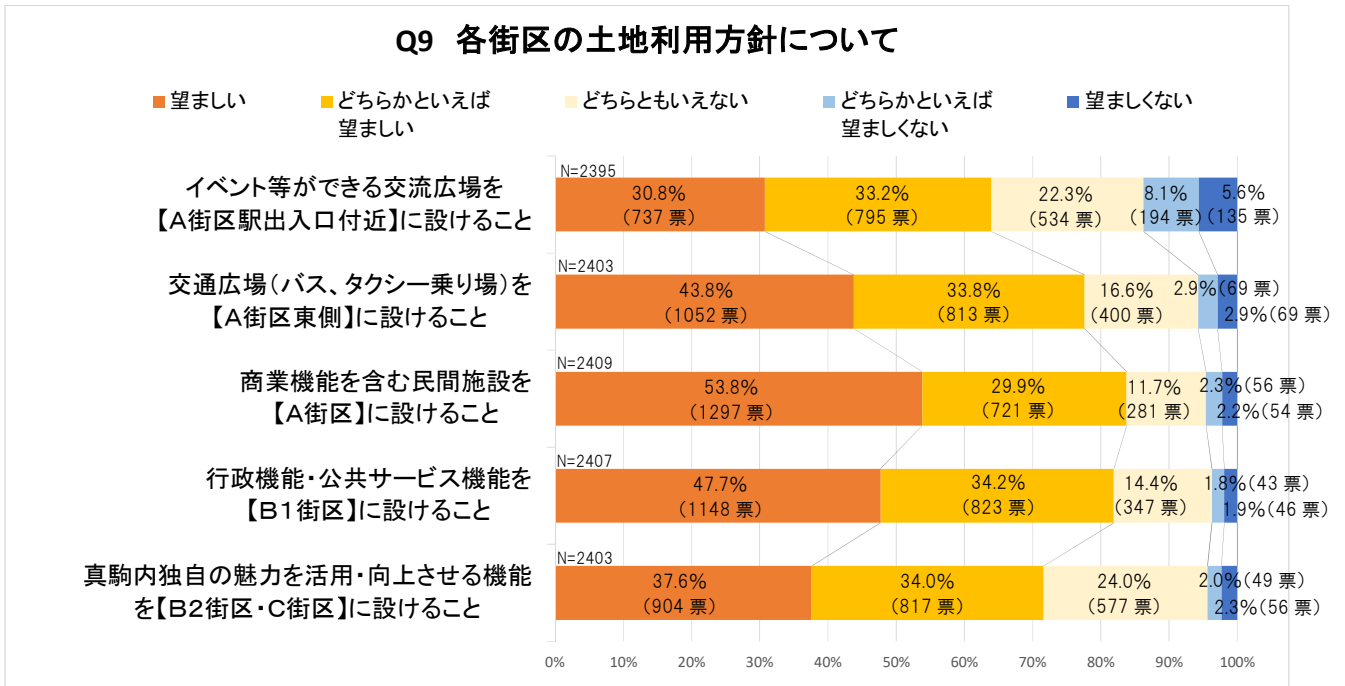
### Q8 真駒内駅までの交通手段

選択肢	サンプル数	割合
徒歩のみ	235	14.0%
自転車	53	3.1%
自動二輪車・原動付自転車	1	0.1%
地下鉄	173	10.3%
路線バス	889	52.8%
タクシー	15	0.9%
自家用車(自分で運転)	124	7.4%
自家用車(家族等による送迎)	88	5.2%
その他	10	0.6%
無効	95	5.6%
合計	1,683	100.0%



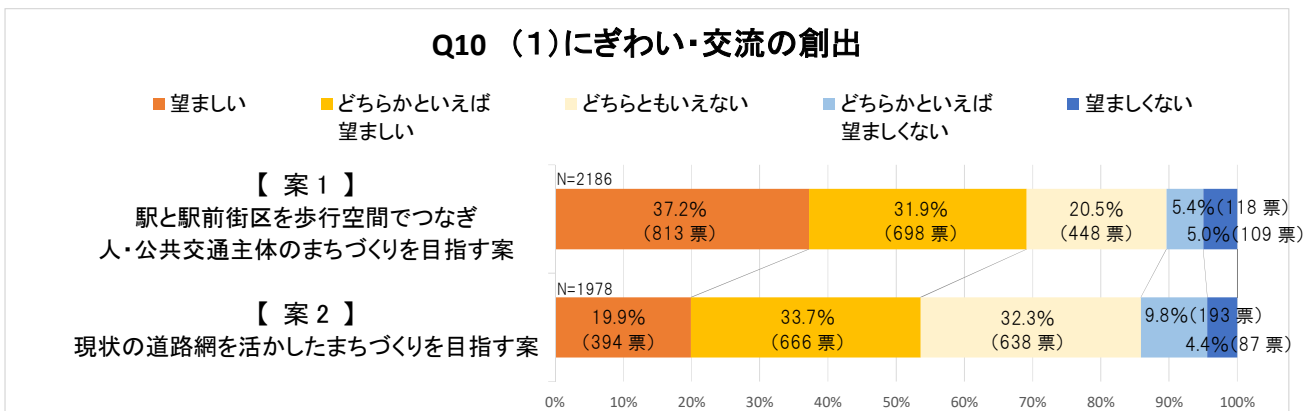
### 3 土地利用方針・動線計画について

#### Q9 各街区の土地利用方針について

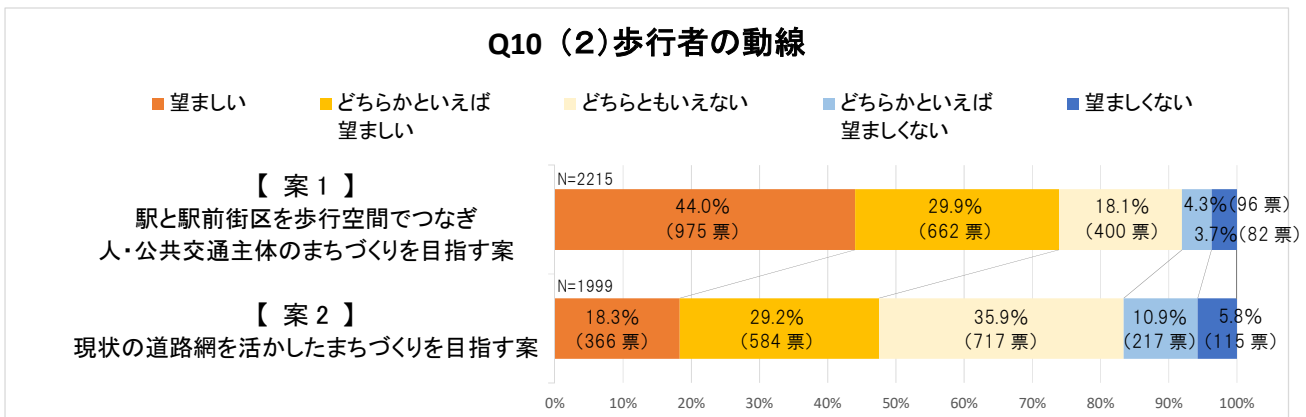


#### Q10 歩行者及び自動車の動線計画について

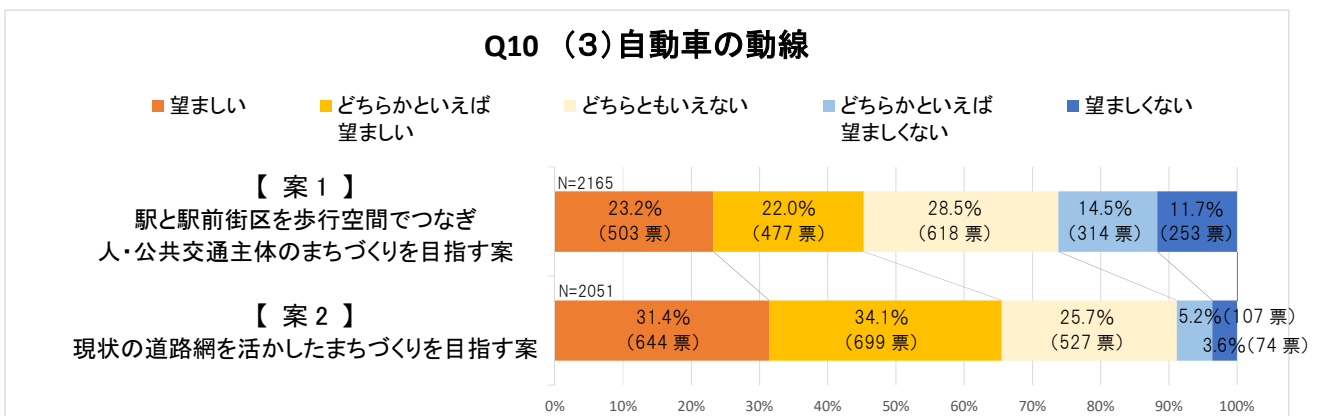
(1) 「にぎわい・交流の創出」の観点【交流広場の活用、生活利便の向上、周辺地域への周遊】



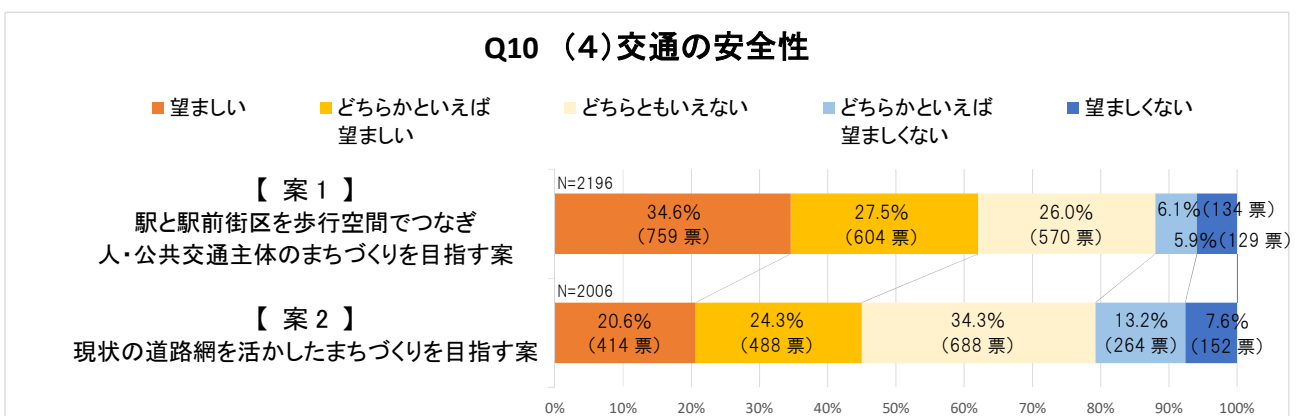
(2) 「歩行者の動線」の観点【快適な歩行者空間、乗継のしやすさ】



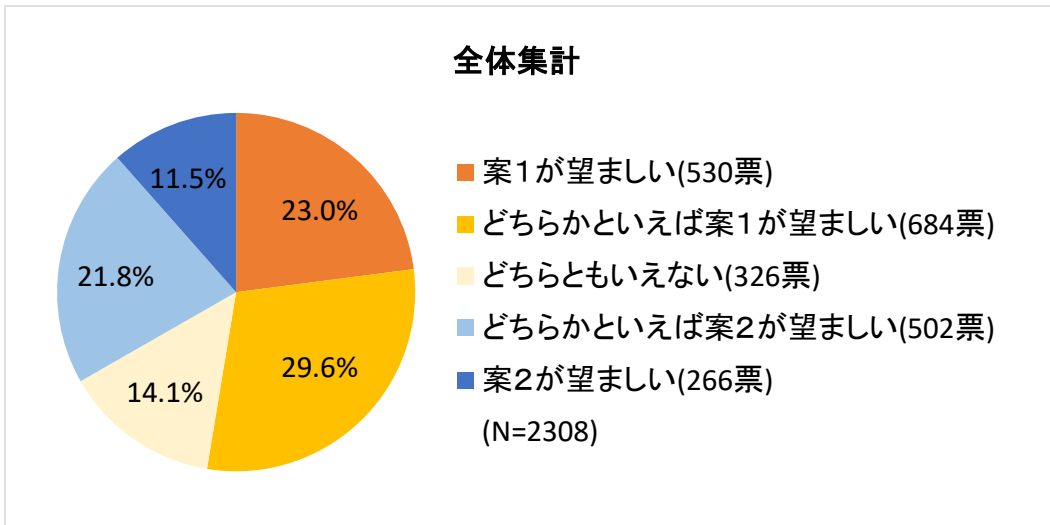
(3) 「自動車の動線」の観点【通行のしやすさ、駅や各施設へのアクセスのしやすさ】



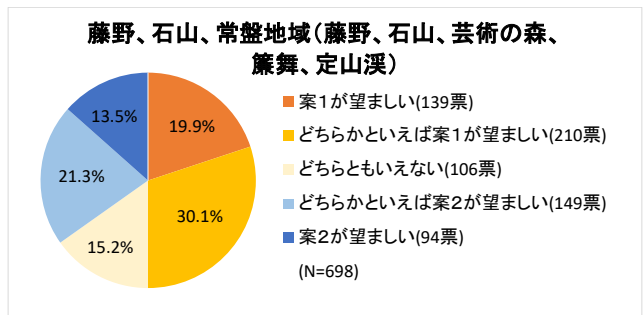
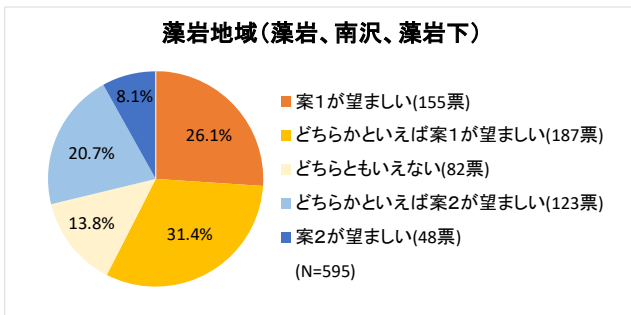
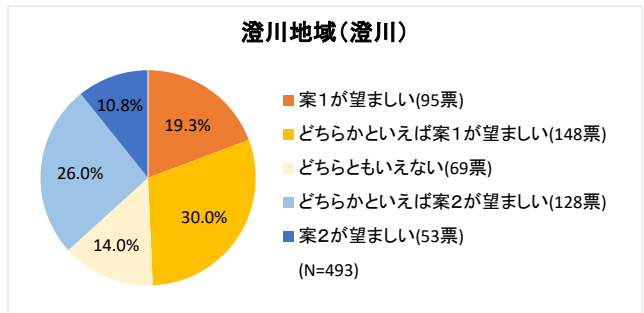
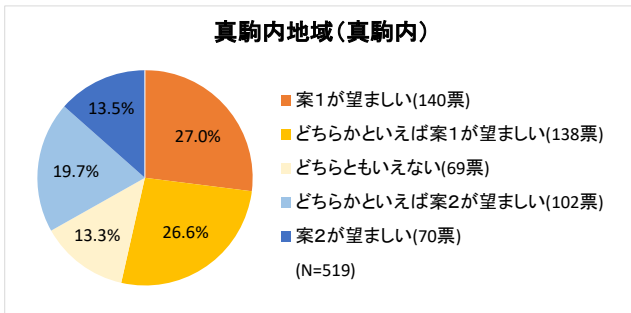
(4) 「交通の安全性」の観点【路上駐車・乱横断対応への配慮】



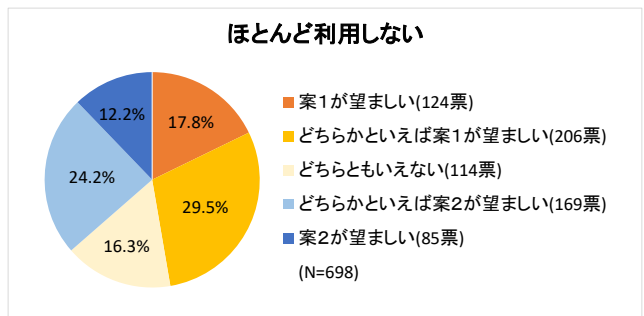
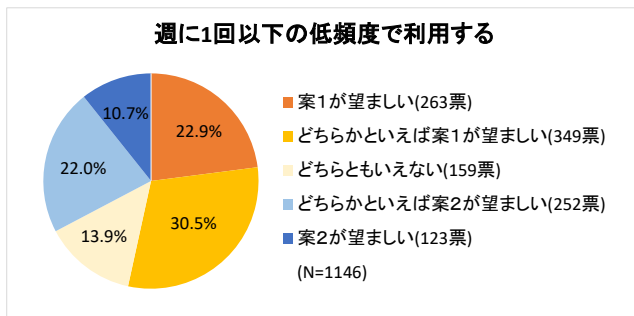
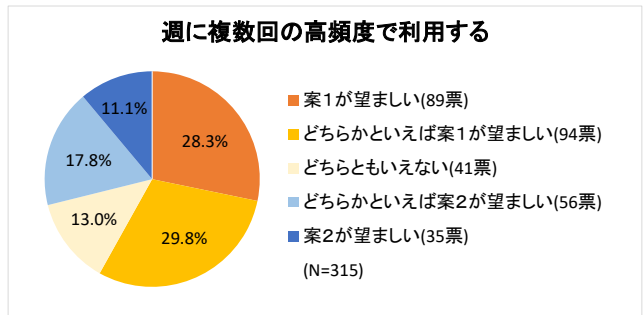
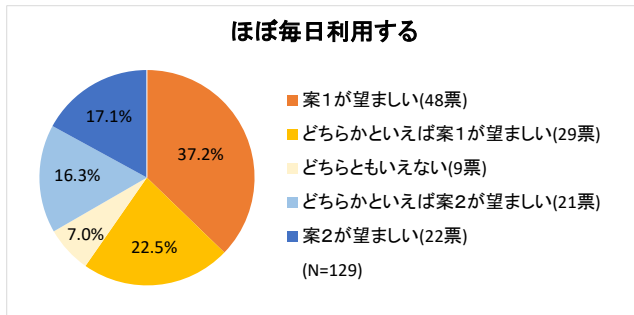
Q11-① 案1（駅直結化）と案2（平岸通現存）について



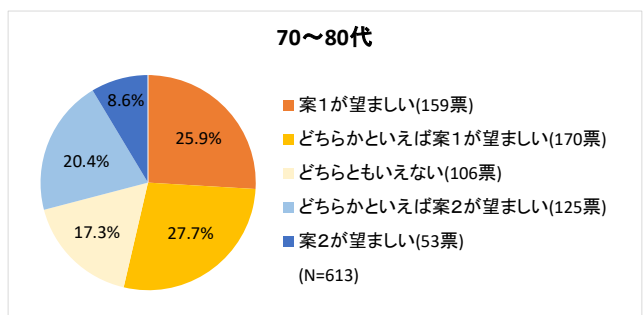
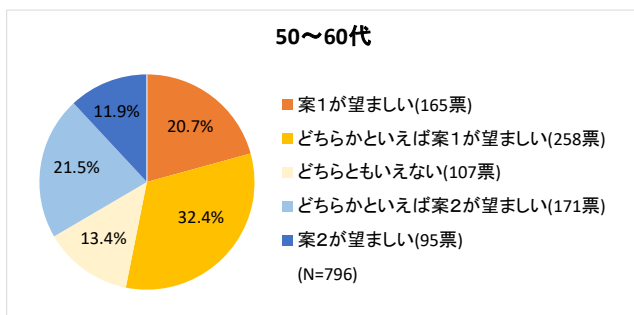
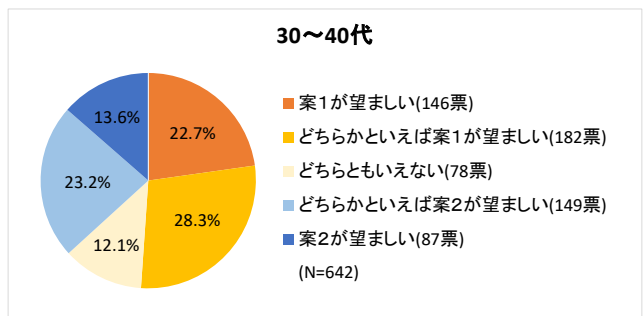
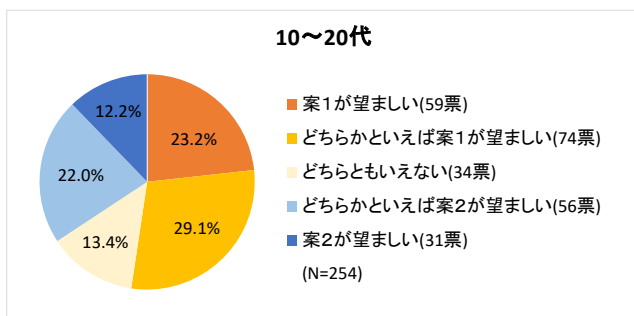
Q11-② 地域別傾向について



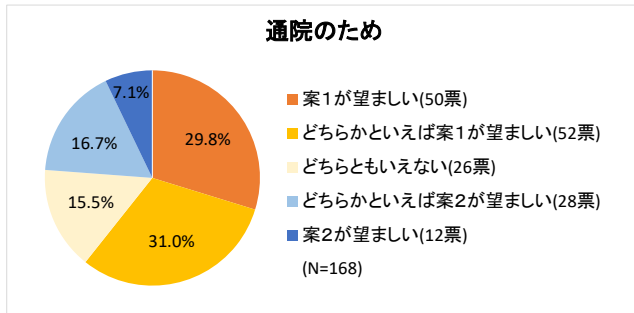
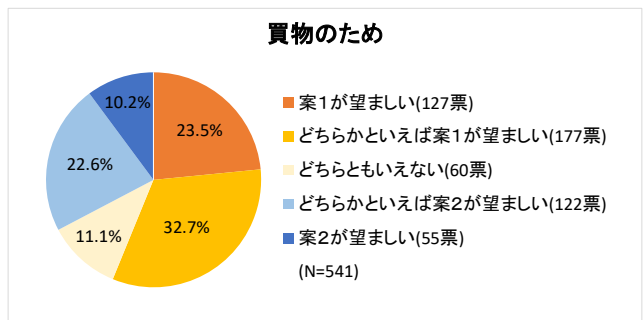
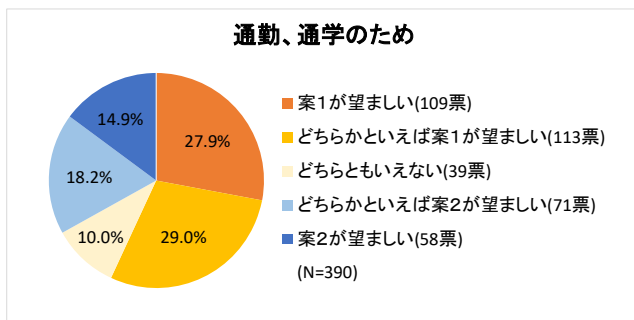
### Q11-③ 真駒内駅の利用頻度別傾向について



### Q11-④ 年代別傾向について



Q11-⑤ 真駒内駅の主要な利用目的別傾向について



Q11-⑥ 真駒内駅までの交通手段別傾向について

